



# 第三者検証 意見書



レスポンシブル・ケア

東京応化工業株式会社  
代表取締役 取締役社長 種市 順昭 殿

統合レポート 2019

第三者検証 意見書

2020年7月17日

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

永松 茂樹



## ■ 報告書検証の目的

本検証は、東京応化工業株式会社が作成した「統合レポート 2019」(以後、レポートと略す)を対象として、下記の事項について、化学業界の専門家として意見を表明することを目的としています。なお、検証範囲は財務情報を除くものとします。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動および CSR 活動
- 4) レポートの特徴

## ■ 検証の手順

- ・ 相模事業所において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性および数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、レポートの内容について各業務責任者およびレポート作成責任者に質問すること、並びに資料の提示・説明を受けることにより行いました。
- ・ 宇都宮工場において、相模事業所に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性および数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。調査は、各業務責任者およびレポート作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件と照合することにより行いました。
- ・ 数値および記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

## ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性および数値の正確性について
  - ・ パフォーマンス数値は相模事業所および宇都宮工場において、合理的な方法で正確に算出・集計されていることを確認しました。
- 2) 数値以外の記載情報の正確性について
  - ・ レポートに記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し指摘しましたが、現レポートでは修正されており、修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア活動および CSR 活動について
  - ・ マテリアリティ(重要課題)を6項目掲げ、具体的な課題・目標(60項目以上)を決め、活動を展開していること、その実績を的確に評価していることを評価します。
  - ・ グループリスク管理表を作成し、新たなリスクを含め全体のリスク低減に計画的に取り組んでいること、数千を超える化学物質のリスクアセスメントを行い、工場ではリスクアセスメントに基づいた化学物質管理を実施していることを評価します。
  - ・ 研究開発型企業として、「人材育成」を重要課題に掲げグローバル選抜教育、ジョブチャレンジ制度、実績報奨制度、そして従業員エンゲージメント調査に基づく「役割等級制度」の展開を図っていることを評価します。
  - ・ 廃棄物削減の取り組みでは、多量に使用している有機溶剤廃液の3Rを徹底的に追及実践していること、ゼロエミッションを継続して達成していることを評価します。
  - ・ 宇都宮工場は、5年間不体災害を含め災害ゼロを継続しています。人材育成に向けた教育・技能研修(生産マイスター、QC検定、安全体感型学習等)を重視していること、また、「気づき活動(いつもと異なること、何か気になることを提出する)」を展開し、当事者意識を高めていることなど、従業員のレベル向上の表れと評価します。
- 4) レポートの特徴
  - ・ 統合レポートとして、読みやすさ、分かり易さに配慮した報告書になっており、最先端を走る事業の展開、企業の姿勢・取り組みが明示されています。
  - ・ マイナス情報(内部通報、公害防止、労働災害等)を含め、幅広く公開されています。

以上